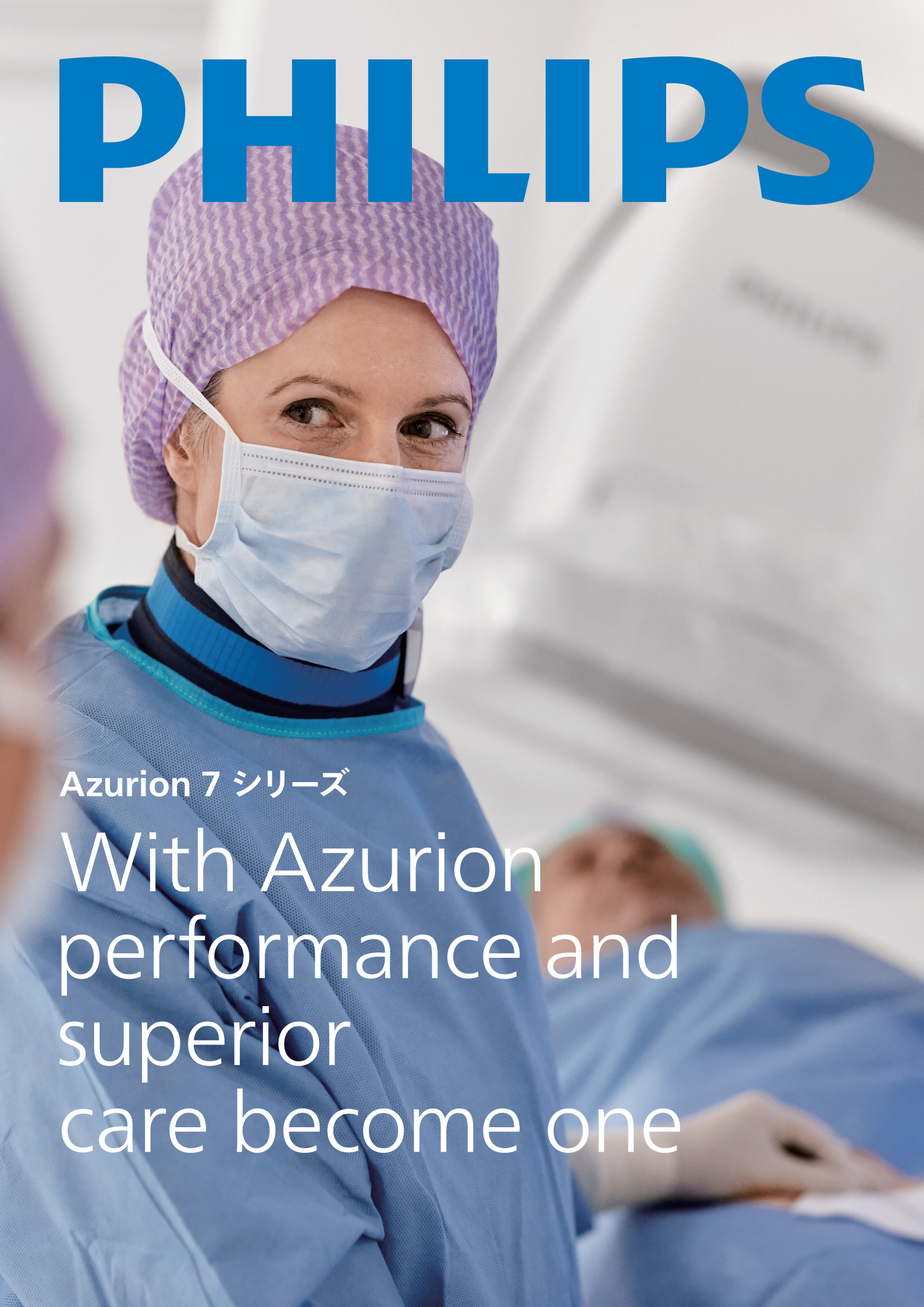


PHILIPS



Azurion 7 シリーズ

With Azurion
performance and
superior
care become one

患者を治療するために医療の現場では、どのような手技を行う場合においても、最良の患者ケアを迅速かつ確実に提供できるよう、日々あらゆる努力がなされています。その中でより多くの患者に対して合併症のリスクを抑えつつ、一貫して効率的に手技件数を増やすことができたのでしょうか。それは、使いやすいプラットフォームによる最適化されたワークフローによって実現可能となります。

フィリップスは、クリニカルエクセレンスとワークフローイノベーションを一体化し、優れた患者ケアの提供、合併症のリスクの低減、運用効率の向上をサポートします。



Azurionは、より質の高い治療をサポートします。



Azurionは、検査室のパフォーマンスを向上させます。



標準化されたユーザーインターフェースが、多様な手技を迅速かつ簡便にします。

フィリップスの新世代IVR対応血管撮影X線診断ソリューション Philips Azurion 7シリーズは、一貫性のあるワークフローを構築し、合併症リスクの低減を目指し、セットアップを簡素化し、効率性と柔軟性を向上させ、低線量の環境を実現させるためのさまざまな機能を有しています。

また、Azurion 7シリーズは、シングルプレーン、バイプレーンのフルラインナップを有し将来的な拡張を視野に入れて設計されたハードウェアおよびソフトウェアプラットフォームが、ルーチン手技から複雑な手技まで幅広くサポートします。

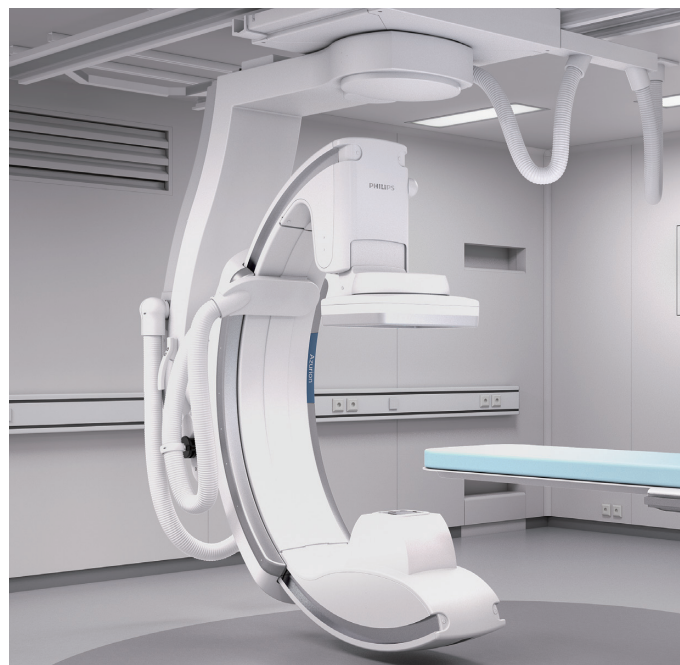






直観的なポジショニングを可能とする バイプレーンシステム

自在なアクセスを可能にする シングルプレーンシステム



フィリップスのダブルCアーム方式を採用した2軸方式による直観的なポジショニング可能なバイプレーンシステムです。左右方向と頭尾方向が独立した回転軸を持つことにより、左右方向に依存しないで、頭尾回転を行うことが可能です。そのため、回転中心を維持したまま求める角度への直観的なポジショニングが可能です。

天井走行式システムならではのフレキシビリティで寝台周りにスペースを確保し、3方向からのアクセスが可能。手技の内容に応じてさまざまなワークフローに対応します。堅牢なCアーム設計は高速移動性と優れた制御性を兼ね備え、Cアーム、天井懸垂式モニター台、操作モジュールは検査室の構成に合わせて自在に配置できます。また寝台足側にも待機位置があるため、必要に応じてアクセスのためのスペースを確保できます。

Our Azurion 7 family

Philips Azurion 7ファミリーはさまざまな臨床ニーズにお応えする包括的なソリューションを提供することにより、新たな治療への扉を開きます。



検査室用大画面モニタ&マルチビューイングシステム FlexVision*
手技に合わせて自在に必要な画像を表示できます。幅広い手技への容易な対応をサポートします。



Touch screen module (TSM)
透視／撮影条件の設定、Cアーム、オートポジショニングの保存／呼び出し、コリメーターや画像処理などさまざまな操作ができます。

人間工学に基づいたカテーテルテーブル&
テーブルサイドコントローラ



Azurionのテーブルは、軽量性と耐久性を両立させたフローティングテーブルトップを採用しています。指一本でボタンを押して起動できるピボット移動、寝台がどこに位置していても心臓マッサージに対応できる優れた堅牢性、搬送を容易にするためにテーブルの最低高を低く設計しています。さらにクレードルやチルトといったオプションにより、通常のカテーテル手技に加えハイブリッド手技にも対応可能です。

無駄を省き、シームレスな操作を可能にした
コントロールルーム



コントロールルームには24インチのモニターを2面配置し、透視／リファレンス画像の表示、検査データの管理を行います。2面のモニタは同一マウス、キーボードでシームレスに使用することができます。

*オプション



Azurion 7 B12/12

確信を持って複雑な手技を行うためには、血管形態を明瞭に描出することが常に求められてきました。そして今、クリアな画像が得られるだけでなく、効率性と臨床性能においても数多くの機能が拡張された、新世代血管X線撮影装置Azurionパイプラインシステムが登場しました。Azurion 7 B12/12は、PCI、SHDインターベンション、電気生理検査手技などの複雑な手技を行うために調整され、システムに統合された数多くの高度なインターベンショナルツールが高い付加価値と高い効率性を提供します。

Azurion 7 C12

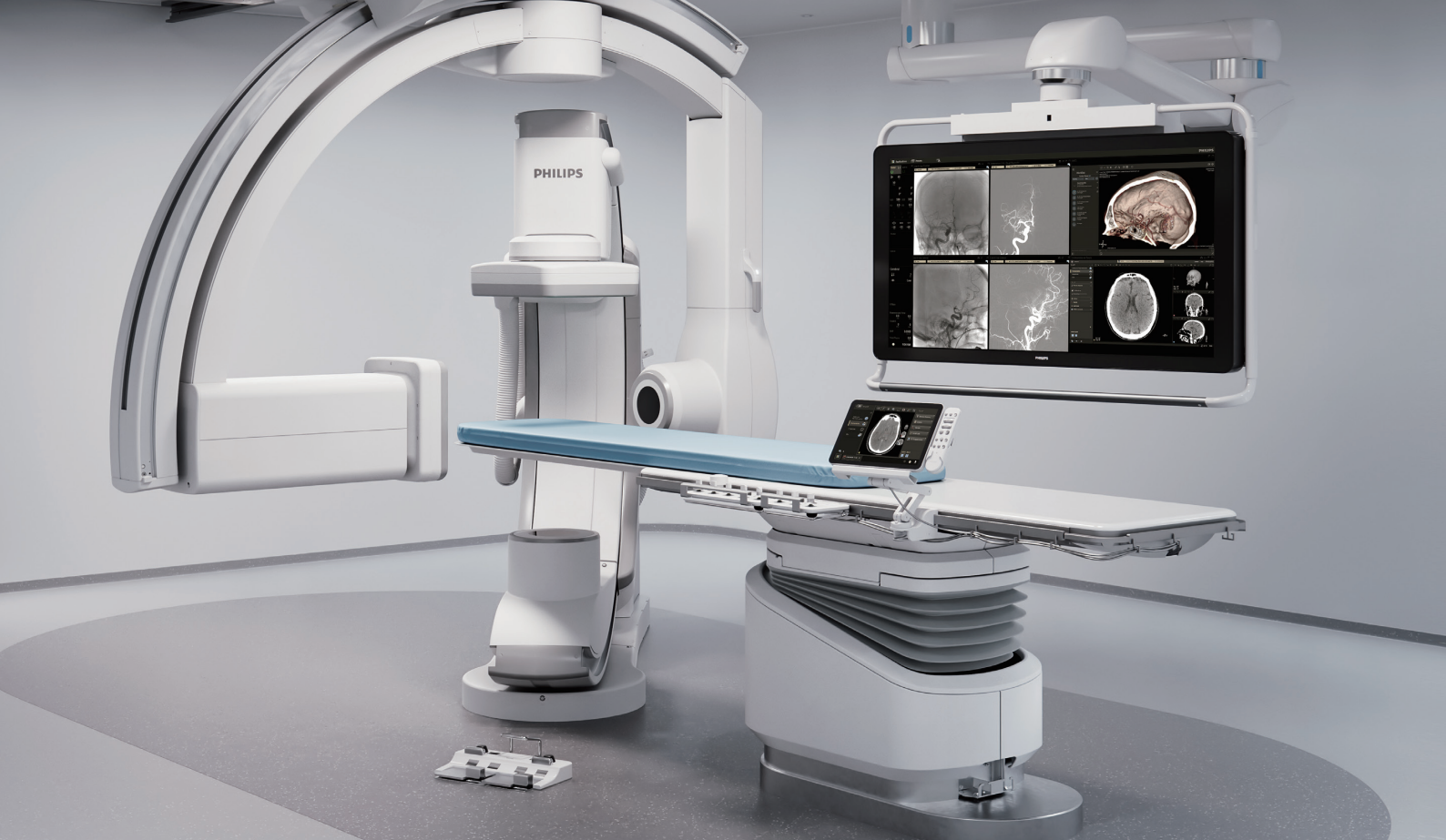


Azurion 7 C12は対角12インチのコンパクトな検出器を搭載し、深いアンギュレーションに対して迅速なアーム操作を実現します。Gアーム設計により、105cmの奥行きを確保し鼠径部までのアプローチをテーブル可動のみで十分に観察できます。また、天井走行により全身領域をカバーし、手技を妨げない場所に待機させて寝台周りのスペースも確保できます。

Azurion 7 C20



Azurion 7 C20は対角20インチの検出器を搭載し、高画質を提供することができます。20インチの広い視野はあらゆる領域をカバーするとともに、多彩な角度からのアクセスもサポートしています。さらにフィリップスの優れた画像処理技術により、腹部領域や末梢血管を明瞭に描出することが可能です。



Azurion 7 B20/15 LN

対角20インチと対角15インチの検出器を備えた新世代血管X線撮影装置Azurion 7 B20/15 LNは脳血管内治療において最適な視野サイズを確保しつつ、検出器同士の干渉を最小限にした自由度の高いアンギュレーションを可能としたデザインを採用しています。シングルプレーン設定時においてもフレキシブルなアームポジションを実現し、全身領域のインターベンションに対応します。

Azurion 7 F20



Azurion 7 F20は床置き式の対角20インチの検出器を搭載しております。ベースが左右どちらの方向にも90度旋回することが可能であり、頭部から末梢まであらゆる手技に応じてフレキシブルに対応が可能です。

Azurion 7 B20/12



Azurion 7 B20/12は対角20インチと対角12インチの検出器を搭載したシステムで、心臓領域を中心に全身領域のインターベンションに対応します。高品位な画質と迅速なアーム操作を実現し、シームレスな環境で手技をサポートします。導入目的に応じて側面アームに搭載される検出器を左右にどちらかに選択することができます。



ワークフロー改善を支える Instant parallel working



Instant parallel workingにより完全マルチタスク処理が可能です。検査室と操作室の操作が独立しているため、透視中であっても画像解析や参照画像の作成、画像転送が可能です。お互いの作業を中断させることなく自分のペースで手技を進めることが可能であるため、手技時間の短縮が期待されます。

非透視下で直観的なポジショニング Zero Dose Positioning



Zero Dose PositioningはX線を照射せずにスクリーン上で直観的なポジショニング操作を可能にします。X線照射エリアをスクリーン上にリアルタイム追従・X線透視を行わなくてもテーブルパンニングや昇降、SID、視野サイズの変更に自動で追従が可能で被ばく低減をサポートします。

MRC200+X線管

従来から性能と信頼性の高かったフィリップスのプラットフォームのMRC X線管の性能がさらに向上しました。

陽極冷却率の性能向上

910KHU/min→1820kHU/min*

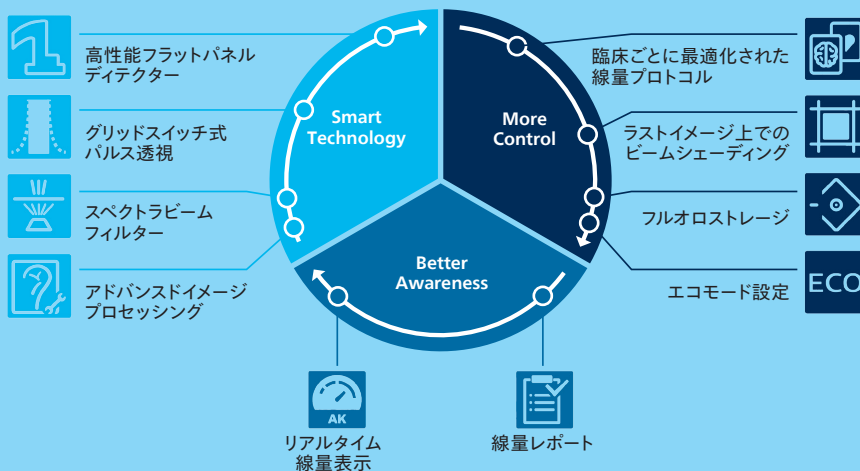
陽極蓄熱容量の性能向上

2.4MHU→6.4MUH*



DoseWise

DoseWiseは、フィリップスの長年の経験をもとに技術の粋を集めた低被ばくのソリューションです。10mmの厚みを持ったスペクトラビームフィルタの挿入やプロトコルごとの最適な設定選択などのさまざまな技術によって被ばく低減と高画質の維持を実現します。



安全性と効率性に貢献する Checklist & protocols



Checklist & protocolsは各施設ごとの血管撮影室運用や、操作マニュアルなどをProcedureCards内に保存／表示できる機能です。施設内で作成したマニュアルやルールをいつでも簡単に表示することで手技中の人的リスクを低減させることが可能です。

ボタン一つでポジション、各種設定を再現 フルシステムAPC



Full system auto position control**は、保存された任意の画像をリコールし、ボタン一つだけでGantryポジション、Tableポジション、視野サイズ、ウェッジフィルター、コリメーション、SIDなどシステムの設定全てが選択したリファレンスのポジションに戻ります。

* 当社従来タイプとの比較(シングルプレーン使用時)

**オプション

Our hybrid solution

Azurion 7 C20 with FlexArm

レイアウトとポジショニングをより柔軟に

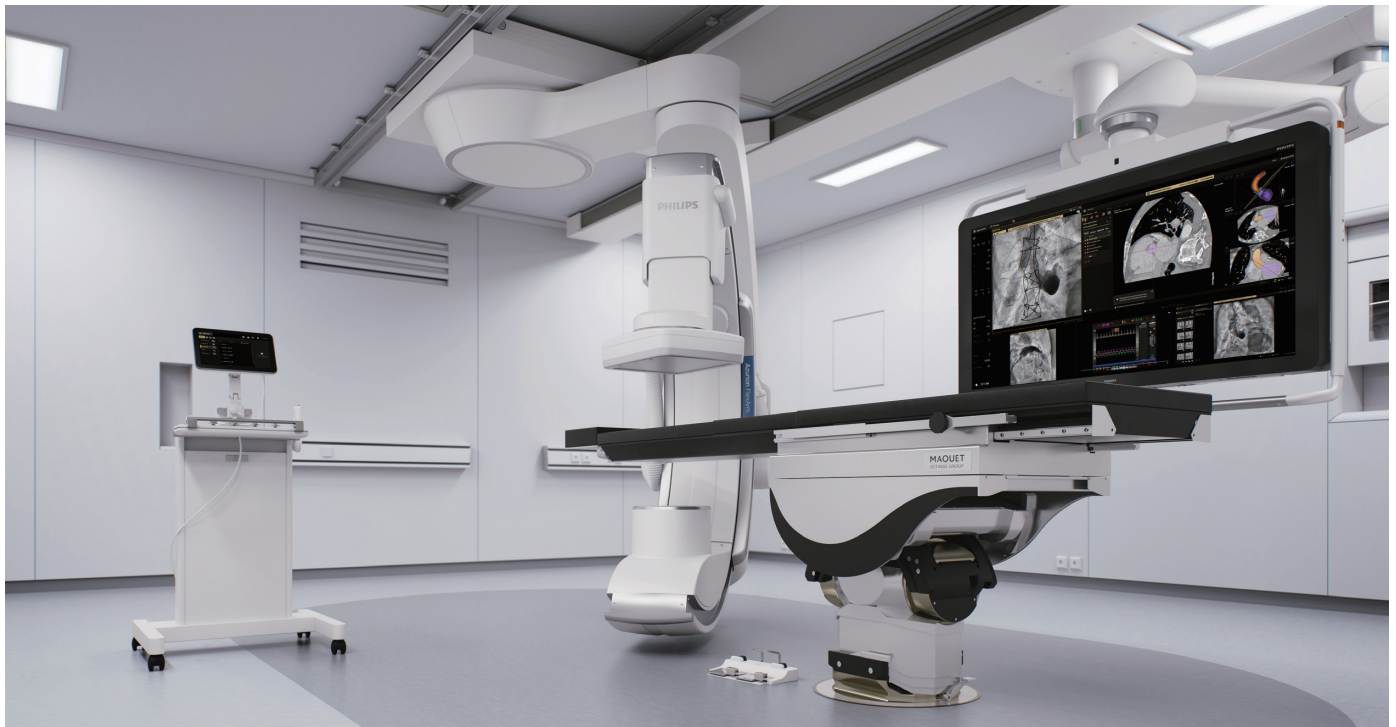


reddot winner 2020
best of the best



DESIGN
AWARD
2020

PRODUCT DESIGN



症例毎に最適なワークフローの提供

FlexArmの動きの柔軟性にAxsysmotion control systemとProcedure cardsを組み合わせることにより、症例毎に最適なワークフローを実現します。システムの位置決め時間は、標準的な天井走行Cアームを装備した検査室に比べて27%短縮できます（当社比）。また3Dスキャン撮影を頭側、左側および右側の3方向から行うことができるため、スタッフの立ち位置の自由さと患者へのアクセス方法の選択肢が広がります。



8つの可動軸であらゆるポジション取りを
シームレスに



複雑な動きをシンプルな操作で

人間工学的に設計されたAxsys motion control systemによって複雑な動きを直観的にコントロールすることができます。



高度な感染管理

治療中の感染リスクを管理するために厳重な手術向けの汚染管理の規格を満たすように設計されています。天井走行式Cアームでありながら、還流の影響を低減し、容易にクリーニングが可能です。

※レッド・ドット・デザイン賞。ドイツのDesign Zentrum Nordrhein Westfalenが主催する国際的なプロダクトデザイン賞で、2020年の選考でBest of Bestを受賞しました。

Azurion 7 C20 with FlexArm



広範囲に稼働可能なFlexArm機能と手術テーブルに統合され、血管内治療、ハイブリット手術、外科手術に対応できる多機能モデルです。広範囲に駆動が可能なFlexArmにより、必要なときにCアームの挿入が行え、Cアームを完全退避により、通常の外科手術のスペースを確保可能、さまざまな手術環境に対応可能なシステムです。

Azurion 7 B20 with OR table

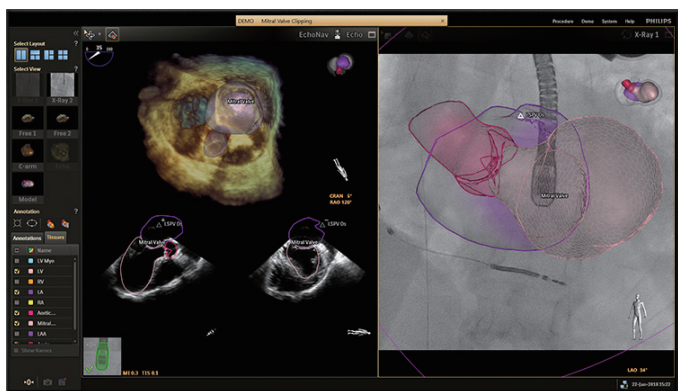


バイプレーンシステムと手術テーブルの統合モデルです。血管内治療に対しても妥協のないパフォーマンスを発揮でき、手術テーブルにより、さらに高度なハイブリット手術環境を実現できる幅広い治療のニーズに対応可能なシステムです。

SHD solution

構造心疾患治療を支援する進化した Live Guidance

EchoNavigator



EchoNavigatorは、透視画像上に超音波装置EPIQ CVxiで取得した3D-TEEイメージをリアルタイムにFusionし、直観的に形態を理解することを支援します。また治療中に術者同士が簡単に情報共有することが可能でSHD治療を効果的にサポートします。アームポジションを変更しても、3D-TEEイメージは自動追従するため、ストレスがなく効率性も向上します。

Philips 超音波装置EPIQ CVxi





製造販売業者

株式会社フィリップス・ジャパン

〒106-0041 東京都港区麻布台1-3-1
麻布台ヒルズ森JPタワー15階

お客様窓口 0120-556-494
03-4334-7637

受付時間 9:00～18:00
(土・日・祝祭日・年末年始を除く)

www.philips.co.jp/healthcare

改良などの理由により予告なしに意匠、仕様の一部を変更することがあります。あらかじめご了承ください。詳しくは担当営業、もしくは「お客様窓口」までお問い合わせください。記載されている製品名などの固有名詞は、Koninklijke Philips N.V.またはその他の会社の商標または登録商標です。

販売名：血管造影X線診断装置 Azurion

医療機器認証番号：228ACBZX00012000

設置管理医療機器／特定保守管理医療機器
管理医療機器